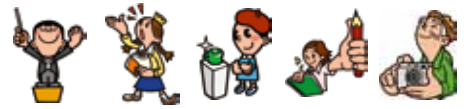


文化課通信



文化振興係 ☎ 46-2344 博物館係 ☎ 37-1000(分館 ☎ 34-3216) 文化財係 ☎ 46-3446

市指定文化財天然記念物カタクリ園 開園のお知らせ

カタクリは、山地や丘陵に自生する多年草で、1株に一輪だけ紅紫色の花を咲かせます。分布は北海道から九州まで見られますが、大井川流域での自生は極めて少なく、そのほとんどが牧之原台地周辺です。

昭和60年には、牧之原公園に自生するカタクリが金谷町(当時)指定文化財・天然記念物に指定され、現在は金谷野の花の会と市教育委員会が協働してカタクリ園の保護活動を行っています。



「金谷野の花の会」の皆さん

開園日時／3月28日(土)～4月5日(日)

(雨天閉園)

午前9時30分～午後3時30分

ところ／牧之原公園内

※野の花の会では、植物に関心のある市内在住の人を募集していますので、お問い合わせください。

◎金谷野の花の会(大久保)

☎ 45・2621

◎文化財係

収蔵品展 本館「幕末の三舟と島田」 分館「分館15年の歩み」

幕末の動乱期から明治時代にかけて活躍した幕末の三舟。特に勝海舟と山岡鉄舟は、刀を鋤や鍬に持ち替えて荒地だった牧之原の開墾に従事した士族たちを応援した、島田とも縁の深い人たちです。

今回は収蔵品の中から山岡鉄舟「案山子画賛」「宝珠画賛」、勝海舟「碇画賛」「大海軍建設の歌」「六曲一隻屏風」、高橋泥舟「富士越龍」、市指定文化財である「牧之原開墾地の絵図面」「土族名簿」などを展示します。



案山子画賛

開催期間／4月1日(水)～6月14日(日)
ところ／博物館特別展示室(2階)

【分館15年の歩み】

分館開館15周年を記念する第一弾として、海野光弘の木版画作品の中から「縁通し」「花畑の岬」「杏若葉の里」など、春を感じさせる作品を中心に展示します。



花畑の岬

また、前田守一、伊東繁特、青木鐵夫、長尾タダユキ、夏池篤など、開館以来分館に寄贈された版画、染物、工芸品なども紹介し、分館15年の歩みを振り返ります。

開催期間／4月1日(水)～6月28日(日)

【共通】

※休館日は祝日を除く月曜日。

※本館・分館共通料金(300円)で入館可。中学生以下無料。

◎博物館係

分館開館15周年記念事業のご案内

とき／4月26日(日)①午前11時から

②午後1時30分～3時30分

ところ／分館

【①ギャラリートーク】

演題／海野光弘の想い出

講師／海野克江氏

申し込み／不要。直接会場へ

※入館料が必要です。

【②ワークショップ】ペンダントをつくらせてみよう！

講師／海野真波氏(ジュエリーデザイナー・制作者)

対象／小学1年生以上

定員／15人(先着順)

参加費／500円(材料費・入館料)

申し込み／事前に電話で分館へ

◎博物館係

《しまはくワークショップ》

とき／4月以降の第2・3日曜日

午後1時～3時

ところ／博物館整理工作室(1階)

対象／小学生 内容／小物作り

参加費／100円(入館料不要)

申し込み／不要。直接会場へ

◎博物館係

再現により、新・金谷名物

「家康公の勝鬨餅」が誕生

東海道街道文化創造事業の一環として、東海道「間の宿菊川」(現島田市金谷地区)の名物だった「餡餅」を、江戸時代のレシピをもとに再現しました。

餡餅は、徳川家康の関ヶ原の合戦勝利にちなんで「御開運の餡餅」と呼ばれたという話も伝えられますが、再現にあたっては、家康のように運が開け、勝利を得ることを願う「家康公の勝鬨餅」と名付けました。

今後、同事業の各イベントで販売していく予定です。関連事業については、ホームページ「GOICOTOKAIDO」で検索または <http://gogo-tkdo.jp> やフェイスブック「GO GO Tokaido」で検索)をご覧ください。

◎文化振興係



ホームページのQRコード▶



《4月の機織体験開催日》

- 1日(水)、2日(木)、4日(土)
- 8日(水)、9日(木)、10日(金)
- 12日(日)、15日(水)、16日(木)
- 18日(土)、21日(火)、22日(水)